

# スローテンポ通信

第 30 号

2019年9月25日

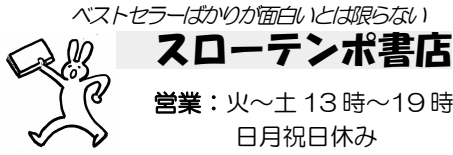
発行：一般社団法人スローテンポ協会  
〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-4-3F

☎ 0285-35-2888

Eメール [usagimokamemo@gmail.com](mailto:usagimokamemo@gmail.com)

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>



ベストセラーばかりが面白いとは限らない

**スローテンポ書店**

営業：火～土 13時～19時  
日月祝日休み

スローテンポ書店は11月から、小山駅前ビルロブレB1Fにて営業いたします。10月中はご不便をおかけしますが、11月からの飛躍をご期待ください。

## ☆ 今月のおすすめ

### ○『語り継ぐ 戦争と民主主義』

八角宗林著

あけび書房 2019年 1600円＋税

☆☆☆★★

「教育は根気と愛とアイデアだ」という言葉がずっと残る。教育に限らず、どんな仕事も根気と愛とアイデア次第だ。この本を読んでから、「本屋は根気と愛とアイデアだ」が口ぐせになった。

### ○『父さんはどうして ヒトラーに投票したの?』

文：ディディエ・デニング、絵：PFE、訳：湯川順夫、戦争ホーキの会  
解放出版社 2019年 1800円＋税

☆☆☆☆

不穏な時代と、対立する両親を、子どもの目線でとらえた。小学生から大人まで、今の日本を考えるときに大切なことを教えてくれる。



正しく伝えて人とつながる  
**実用文教室**

対話では言えないことも、文章にすれば、相手に確実に伝えることができます。

①まず、誰が誰に何を伝えたいのかを確認します。

②その後は、参加者が書いた文章を持ち寄って、言いたいことが伝わってくるかどうかを述べ合います。

木曜日午後3時～5時

参加費は資料代含めて、1回500円。

## 「おじさん」「おばさん」は すばらしい言葉だ

道端で前を歩く人の危険を感じたとき、とっさに「おばさん！危ないよ」と声をかける。そんなとき「私はおばさんじゃない」と言ってむっとされることがある。

もともと親の兄弟姉妹のことを「おじさん」「おばさん」と呼んできた。そこから発展して親の世代の男性を「おじさん」、女性を「おばさん」と呼ぶようになった。当初は、目上を尊敬する意味が込められていたに違いない。

ところが、現代人は「おじさん」「おばさん」に余計な意味を含ませてしまった。

風采のあがらない男性の大人を軽蔑して「おじさん」と呼ぶようになった。スケベなおじさん、ダメなおじさんという意味合いまで込められる。

「おばさん」はもっとわかりやすい。電車の空いた席に強引に座ろうとするような、勢いよくて凶々しい年増の女性のことを意味するようになってしまった。

若い女性に対しても、その凶々しい言動に対して「おばさんの」という。

「おじさん」「おばさん」と同じように、「おっさん」「おやじ」「おばはん」「おじん」「おぼん」と呼ばれてうれしい人はもういない。

商店やレストランでは、客のことを「お客様」と呼ぶ。呼ばれて不快に思う人はいないだろうが、客以外には使えない。「社長」「大将」もキャッチバーの呼び込みだと誤解される。

日本語には安心して呼びかける言葉がない。

英語圏では、誰に対しても「レディー」、「ジェントルマン」と呼ぶ。演説も「レディース&ジェントルマン」で始まる。

フランスでは「マダム」「ムッシュ」と呼ぶ。未婚の女性は「マドモアゼル」だろうが、そう呼ぶと叱られることがある。子ども扱いするなという訳だ。

日本では、「お嬢さん」と呼ばれると、女性はみんな振り向く。高齢者でさえ笑顔で振り向くそうだ。

しかし、これは笑い話ではない。バブルの頃から、若さばかりが意味もなく美化されるようになった。

子どもたちを「今のままが素晴らしい」とおだてるばかりだと、成長欲求がなくなり大人の話の聞かなくなる。そして、説教する大人に対して、子どもが平気で「ウザイ」と言う。

大人と高齢者が疎まれる時代の始まりだ。それに伴って「おじさん」「おばさん」の意味が変わった。

名前が分からない人に「そのこのあなた！」と呼びたい時、なんと呼びたいですか？そして、なんと呼ばれたいですか？

「先輩」はどうか、という案も出た。「先輩」は日本独特の言葉で、先人を尊敬する意味が込められる。相手を人生の先輩と考えるなら、誰にでも使える。

しかし、日本にはもともと「おじさん、おばさん」という素晴らしい呼び方がある。誰にでも安心して使える呼び方だった。目上を尊敬する意味も込められている。

封建的な儒教思想の復活だと言われようが、良いものは良い。先人から学ぶことは良いに決まっている。言葉の意味が歪められたなら、それを元通りになおすのが筋だ。

「おじさん、おばさん」の本来の使い方を復活させたい。それは、日本の文化に根差した格調高い言葉だからだ。

「おじさん、おばさん」の悪いイメージを取り除き、本来の意味で使われるようになれば、人生の先輩に対する尊敬の気持ちが生まれ、ひいては大人や高齢者への尊敬にもつながる。

大人と高齢者を尊敬する風潮が生まれれば、大人も高齢者も、尊敬される人になろうとするし、そうした大人と高齢者は子どものお手本にもなる。

課題は、出来上がった悪いイメージをいかに払拭するかだ。言葉の意味は、時代とともに変化する。時間はかかるだろうが、よい意味でどんどん使うことだ。「おじさん(おばさん)と呼んでくれて、ありがとう」と言おう。

いつか七味



どなたも歓迎 懇話会

社会参加の第一歩は人との対話です。

☆前半は、参加者から話題を提供してもらい、後半は、出てきた話題から、共通課題を設定し、参加者全員で話し合います。

☆スローテンポ協会は、ディベート型の議論や自慢話披露型のおしゃべりを卒業して、課題解決型の話し合いを提唱しています。

水曜日午後5時～7時、参加無料。